

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 2 月 28 日(2023.2.28)

【公開番号】特開 2022-60513(P2022-60513A)
【公開日】令和 4 年 4 月 14 日(2022.4.14)
【年通号数】公開公報(特許)2022-067
【出願番号】特願 2022-27205(P2022-27205)
【国際特許分類】

G 0 6 T 19/00(2011.01)

10

G 0 6 T 15/20(2011.01)

【F I】

G 0 6 T 19/00 A

G 0 6 T 15/20 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 2 月 17 日(2023.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生成される仮想視点画像に対応するシーンを示す情報と、仮想視点の位置および仮想視点からの視線方向を設定するための条件を示す情報とを取得する取得手段と、

前記シーンと前記条件とに基づいて仮想視点画像を生成する生成手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記取得手段は、被写体を特定する情報を取得し、

30

前記生成手段は、前記シーンと前記条件と前記被写体を特定する情報とに基づいて仮想視点画像を生成することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記条件は、前記被写体の位置および姿勢に基づいて仮想視点の位置および仮想視点を設定するための条件であることを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記被写体は、人物であり、

前記条件は、前記人物の目線から見た仮想視点画像に対応する仮想視点の位置および仮想視点からの視線方向を設定するための条件であることを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

40

【請求項 5】

前記条件は、所定の位置を中心に回転させるための条件であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記条件は、前記シーンに対応付けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記仮想視点画像は、前記条件と前記被写体とに基づいて設定される仮想視点の位置および仮想視点からの視線方向に基づいて生成される仮想視点画像であることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の画像処理装置。

50

【請求項 8】

前記シーンは、撮影時刻と対応付けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記シーンは、ゴールシーン、シュートシーンおよびファールシーンのうち少なくとも何れか一つを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記取得手段は、ユーザ操作によって特定される前記シーンを示す情報およびユーザ操作によって特定される前記条件を示す情報を取得することを特徴とする請求項 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

10

【請求項 11】

更に、前記生成手段により生成した前記仮想視点画像を他の装置に出力する出力手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 10 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 12】

生成される仮想視点画像に対応するシーンを示す情報と、仮想視点の位置および仮想視点からの視線方向を設定するための条件を示す情報とを取得する取得工程と、

前記シーンと前記条件とに基づいて仮想視点画像を生成する生成工程とを有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 13】

コンピュータを請求項 1 乃至 11 の何れか 1 項に記載の画像処理装置として動作させるためのプログラム。

20

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本開示の画像処理装置は、

生成される仮想視点画像に対応するシーンを示す情報と、仮想視点の位置および仮想視点からの視線方向を設定するための条件を示す情報とを取得する取得手段と、

30

前記シーンと前記条件とに基づいて仮想視点画像を生成する生成手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

40